

UCワークス株式会社

■事業

断熱建築部材の生産性向上・開発の為、
カッティングマシン導入による生産・開発プロセスの構築

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

平型カッティングマシン AS2613F

冷凍・冷蔵機器の断熱材・緩衝材を加工
品質と安全性の向上で安定生産を目指す

【経営理念】

会社を愛する人間集団として、将来に向かって挑戦するとともに、地球的感覚を養い、世界に誇れる製品を提供し、そしてお互いに助け合い、信頼し、幸福への道を開拓するために積極的な行動をとり、温かい心を持って、いつまでも発展することを目指します。

UCワークス株式会社は、主に断熱材などの資材を扱う商社で、各種工事を行うウチヤマコーポレーション株式会社の発泡樹脂加工部門として、2007(平成19)年にスタートした。松江市にあったウチヤマコーポレーションの島根営業所を雲南市に新築移転し、同時に島根工場を設立して子会社化。以降、冷凍・冷蔵機器の断熱材・緩衝材の加工を中心に、梱包材や建材向けの発泡材を加工している。他にも兵庫、滋賀、新潟に工場を、大阪に物流拠点を持つ。

断熱材の生産性および品質・安全性を向上させ、作業者の経験に左右されにくい安定した生産体制の確立を目指すため、補助事業により「平型カッティングマシン AS2613F」を導入した。

熟練度にかかわらず高精度な作業
加工能力を上げ、安全な環境を確立

これまで、複雑な形状の加工は熟練した作業者が担当してきたが、定年退職の際に引き継ぎを行うと、品質にばらつきが発生し、工数もそれまでより増えてしまった。難度の高さに引き継ぎを受ける作業者の確保も難しくなったため、経験の差にかかわらず、誰でも安定して加工作業が出来る仕組みをつくる必要があった。

また、既存設備は単純な加工しかできず、試作や特注に必要な高度な加工に対応できないため、取り組みを見送ることもあった。受注する仕事の幅を広げるために、加工能力を高めることが課題だった。

さらに、作業中に機械の刃の部分の近くに手を添える必要があり、ケガや巻き込まれなどの事故を防ぐため、より安全な作業体制を確立することも不可欠だった。



内山恵三 代表取締役



1

1 導入した平型カッティングマシン



2

2 カッティングマシンのヘッド部分



3

3 難しかったさまざまな加工が可能に

二つのヘッドで効率よく加工
受注を増やし売上増につなげる

新しいカッティングマシンは、多様な素材に対応でき、使いやすく、生産効率が良いのが特徴。データ読み込みによって加工ができるため、作業者の熟練度にかかわらず、高い精度で作業が可能になった。切断・切削をヘッド交換なしで行えるほか、二つのヘッドで同時に異なる加工もできるため、工数の削減にもつながった。

また、刃の近くで素材に手を添える必要がなくなり、異常を感じると作動を停止するセンサーも設置されていて、安全性も大きく改善された。

その結果、自社グループ内外で、新たな受注を増やすことが期待でき、主力の冷凍・冷蔵機器のほか、建材部門での製造・販売も目指している。

既存の設備と合わせて、適材適所で活用することで、新たに年間2,000万円の売上増を計画している。

■Company Data

UCワークス株式会社



UCワークス島根工場

代表者名：内山 恵三
 設立年：2007(平成19)年
 資本金：10,000千円
 従業員数：85名
 主たる業種：その他の製造業
 本社：〒108-0014
 東京都港区芝5-29-14 田町日工ビル3階
 島根工場／島根営業所
 〒699-1104 雲南市加茂町南加茂687-8
 電話：03-5418-1821
 FAX：03-5418-1831
 URL：https://uchiyama-corp.co.jp/